

地域連携室

地域連携副室長 伊東 真弓

1 部門目標

- 1) 地域に密着した医療サービスを提供するため、地域の医療機関との情報交換や連絡調整を行い、病診連携・病病連携を推進する。
- 2) 入退院支援の相談機能の充実
 - ・病棟担当制 看護師/社会福祉士、精神保健福祉士
 - ・入院前からの支援強化
- 3) 制度医療に関する相談機能の充実
 - ・FAST 及び助産制度利用

2 業務体制・スタッフ

室長（医師）1名

看護師 4名（副室長 1を含む）

社会福祉士 5名

精神保健福祉士 1名

非常勤事務員 5名

3 業務実績

(1) 病診連携

表1 年度別紹介患者統計（件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
紹介患者登録	9813	8997	8761	8558	7825	8682

表2 医療機器の共同利用

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
MR	153	188	171	156	93	78
C T	57	61	55	70	63	66
内視鏡	6	3	3	1	0	0
脳波	77	59	52	43	35	51
心理テスト	16	20	33	41	24	11
視野検査	21	13	23	19	10	5

表3. 予約方法（件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
FAX予約	413	452	437	505	380	605
電話予約	3379	3832	4327	4689	5090	5626

表4 紹介率と逆紹介率の推移（%）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
紹介率	72.4	77.4	80.0	79.1	70.1	74.8
逆紹介率	58.9	70.3	75.8	77.5	77.1	87.2

表5 登録医 医療機関数（施設件数）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録医療機関	175	170	173	172	175	140

(2) 相談対応・退院調整

表6 対応件数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入退院支援加算1	507	486	635	706	693	754	1014
入退院支援加算3	199	226	234	266	250	249	277
退院時共同指導料 (うち3者以上)	25 (8)	8 (4)	9 (1)	6 (5)	16 (8)	17 (9)	18 (10)
介護支援等連携指導料	111	96	55	25	28	46	44
連携機関・事業所との面会	313	413	240	211	308	319	309
FAST件数	139	184	276	297	302	351	371
助産施設相談件数	29	27	27	20	36	41	48

*令和元年度助産相談件数訂正変更あり

(3) 地域医療支援病院に関する業務

医療法に基づき、地域医療支援病院運営委員会を開催。施設要件である地域への医療関係者に対する研修・講演会開催広報を行った。

表7 令和6年度 地域の医療従事者等に対する研修・カンファレンス実績

公開カンファレンス等	小児・内科他 全8回	院外参加者 145名 院内参加者 163名
感染防止地域連携合同カンファレンス	4回	院外参加者 50名 院内参加者 26名

(4) その他の活動

千葉県がん診療連携協議会への参画
千葉県児童虐待対策研究会への参画
千葉市要保護児童対策実務者会議への参画
千葉市地域連携室連絡会への参画
地域医療推進委員会への参画
各区地域医療介護推進会議への参画
千葉県共用脳卒中地域医療連携パスへの参画
CHIBA e-linkへの参画

4 1年間の総括

令和5年度は紹介患者数が減る状況となっていたが、令和6年度はほぼ全科で紹介数が増えており、全体数も令和5年度を大きく上回っている。紹介患者数の増加と共に入退院支援加算1の算定数も大きく増加しているが、この数に関しては紹介患者数が減少した昨年度も増加を認めている。各病棟からの介入依頼も早くなっているが、退院支援カンファレンスなどを通じた多職種との連携がスムーズとなっていること、退院支援に関わる全てのスタッフの意識の高まりが要因として挙げられる。

紹介率、逆紹介率に関しては地域医療支援病院の施設要件をクリアすることができている。今後も訪問活動などを継続することで前方連携の強化に努めていく。

退院時共同指導料、介護支援連携指導料など、外部機関や院外関係者との面談が必要な加算に関しては、面会制限が緩和され、増加に転じてからは大きな変動はない。今後も訪問診療医や訪問看護師、地域包括（千葉市あんしんケアセンター）介護支援専門員との協働による入退院支援強化を積極的に働きかけ、退院支援の強化を図っていく。

FAST（ファミリーサポートチーム）の介入数は増加を続け、助産の相談件数も令和3年度から増加を続けている。今後も医師、看護師、コメディカル、事務職員それぞれの意識を高め、小さなことでも情報共有し、地域につなげていくことの重要性について共通認識を持つことが重要である。

地域の医療従事者等に対する公開カンファレンスや、地域医療支援病院の運営委員会については一部対面での開催も再開し継続できている。今後も、適切な方法を検討し開催していく。

5 今後の目標

- ・新病院開設に向け周辺地域の医療機関との連携強化を図る。
- ・前方連携および後方連携充実のため訪問活動を継続。
- ・院内外の多職種との関係構築を積極的に図ることで、入院前からの退院支援体制の強化に努める。
- ・少子高齢化、認知症患者の増加に対応できるよう高齢者、認知症ケアの充実した支援強化に努める。
- ・小児虐待予防、対応、助産制度利用の適切な対応に努める。